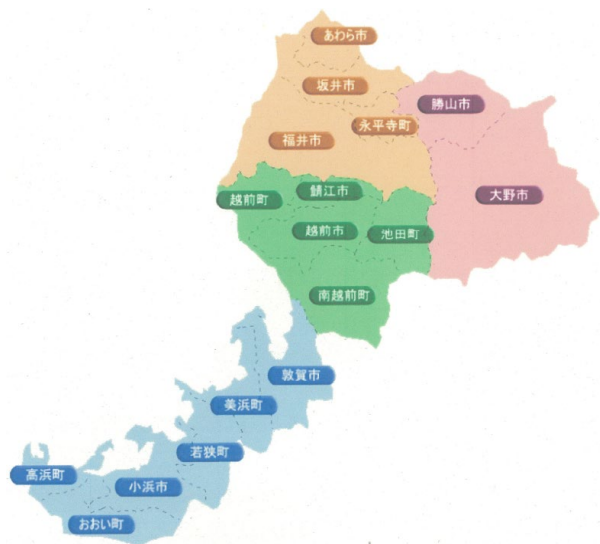


令和5年度

福井県地域年金事業運営調整会議



令和6年3月

福井年金事務所
(福井県代表年金事務所)

01

地域年金展開事業の概要

地域年金展開事業の主な取り組み

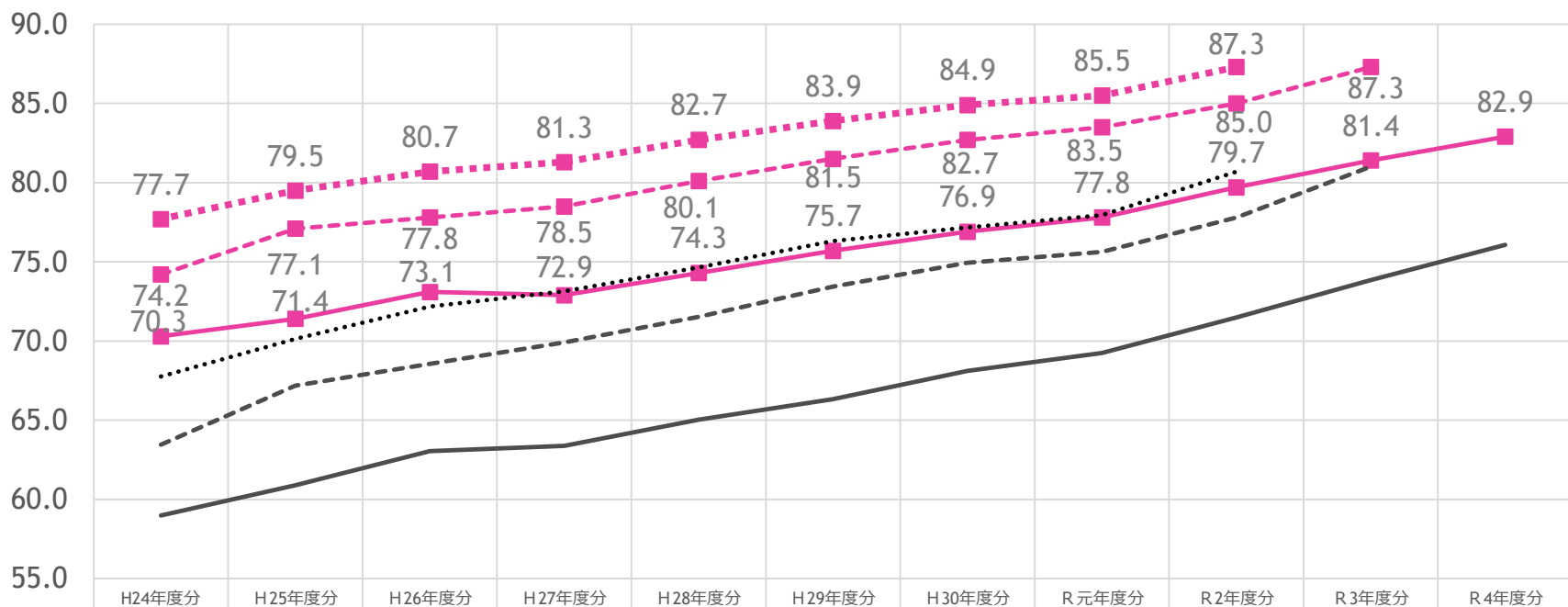
- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』『出張年金相談』等を実施しています。
- ◆ また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

対象	概要	主な取り組み
市町・自治会・事業所 関係機関・関係団体	正しい年金制度の知識や手続き、制度改正等の最新情報を地域において周知するための活動	・ チラシ・リーフレット等の配布 ・ 年金制度説明会の開催 ・ 地域年金事業運営調整会議の開催 ・ 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み
教育機関	高校生や大学生をはじめとする若い世代が、年金の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであることを理解いただくための活動	・ 年金セミナーの開催(対面・オンライン・DVD)
年金委員	公的年金制度について、会社や地域で啓発・相談・助言等の活動を行う民間協力者である、年金委員に対し、活動の活性化を図るための活動	・ 委嘱勧奨 ・ 連絡会・研修会の開催 ・ 情報誌の発行
日本年金機構職員	地域年金展開事業を推進するため、年金セミナー講師としてのスキル向上など、機構職員の育成を目的とした活動	・ 研修の実施 ・ コンペティションへの参加

01.地域年金展開事業の概要

国民年金保険料納付率

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発活動等により、国民年金保険料の納付率は上昇し続けています。令和2年度分保険料の最終納付率は、令和4年度末時点で80%台に到達しました。また、現年度納付率は、令和4年度まで10年以上連続で上昇しています。
- ◆ 直近において、福井県は全国納付率のいずれも上回っており、現年度納付率においても80%を上回っている状況です。

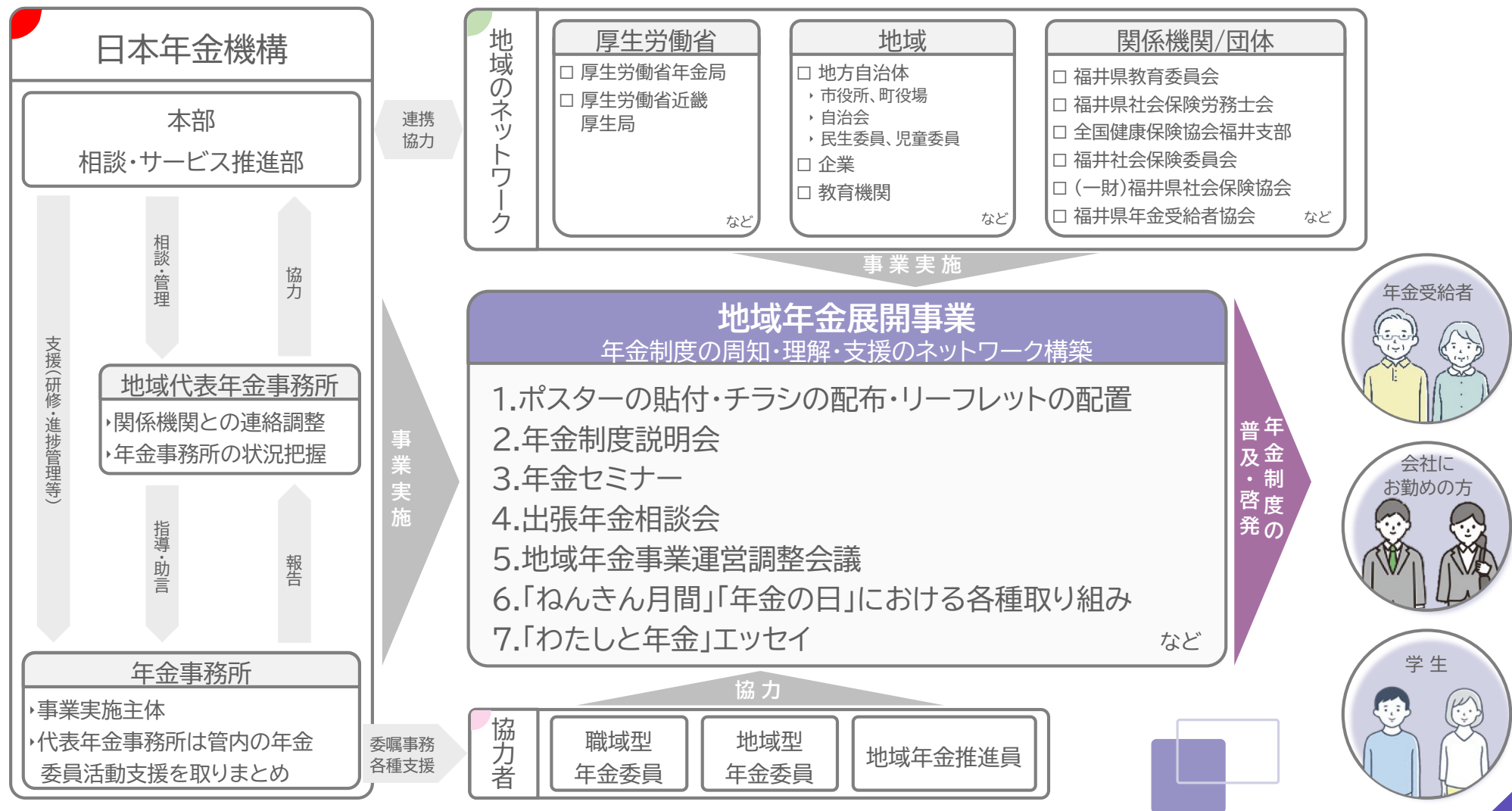


《福井県》

《全国》

01.地域年金展開事業の概要

地域年金展開事業のイメージ図



02

令和5年度事業実施中間報告

市町・自治会・事業所 関係機関・関係団体を対象とした取り組み

チラシ・リーフレットの配布

第86号 (令和6年1月12日)

日本年金機構
Japan Pension Service
編集責任者 事業推進統括部

かけはし

はじめに
皆さん、こんにちは。1月号の「かけはし」
さて、本号では、口座振替・クレジットカー
付の開始、また、公的年金等の源泉徴収票の送
達に関する内容について掲載しています。
ぜひ日々の業務にお役立てください。
引き続き、市区町村の皆様との「かけはし」
引き継ぎ、よろしくお願いいたします。

目次

- はじめに
- 理事長の挨拶
- 機構からの連絡
 - 各種取組事業のスケジュールについて
 - 「国民年金保険料口座振替納付（変更）申出書」をお客様へ交付する際に注意喚起をお願い
 - ねんきんネットを活用して国民年金保険料が納
 - 令和5年分の年金等の源泉徴収票を送付しま
 - 口座振替及びクレジットカード納付の利用動向
 - 令和5年分の「社会保険料（国民年金保険料）
 - 国民年金未納保険料納付勧奨通知書（催告状）
 - 国外転出入情報を活用した国民年金第3号被保
 - 年金生活者支援給付金 相談チャットの開設に
 - 予約による年金相談周知用チラシ及びポスター
 - 令和6年10月から短時間労働者に対する健康保険
 - 業等）が行われます
- 障害年金講座
- 地域の独自情報
- 編集後記

**マイナポータルとの連携で
「ねんきんネット」は
もっと便利になります！**

もうすぐ
利用者数
1000万人
到達！

「ねんきんネット」は、パソコンやスマートフォンからご自身の
年金情報を手軽に確認できるサービスです。

「ねんきんネット」を使って以下のことができます

- ご自身の年金記録の確認
- 将来の年金見込額の試算
- 「ねんきん定期便」や各種通知書の確認
- 持ち主不明の年金記録の検索 など

さらに！マイナポータルと連携することで以下のこともできます

- 扶養親族等申告書の電子申請
- 社会保険料（国民年金保険料）控除証明書等の
電子データの受け取り など

「年金の日」とは

11月30日は
年金の日

厚生労働省では、「国民一人お一人、「ねんきんネット」等を
活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、
11月30日（いいみらい）を「年金の日」としました。

ねんきんクマ
「ねんきんネット」マスコット

ねんきん主役
「ねんきんネット」マスコット

厚生労働省 日本年金機構
Ministry of Health, Labour and Welfare Japan Pension Service

市町職員向け情報誌「かけはし」を配布

- ▶ 市町窓口でお客様からの質問が多い内容を中心とした記事を掲載
- ▶ 「障害年金講座」として、障害年金に関する窓口事務での注意点や、よくある返戻事例等を紹介する記事を通年で掲載

広報紙「社会保険ふくい」への記事掲載

- ▶ 制度説明にかかる記事や算定基礎届事務講習会の開催情報等を掲載

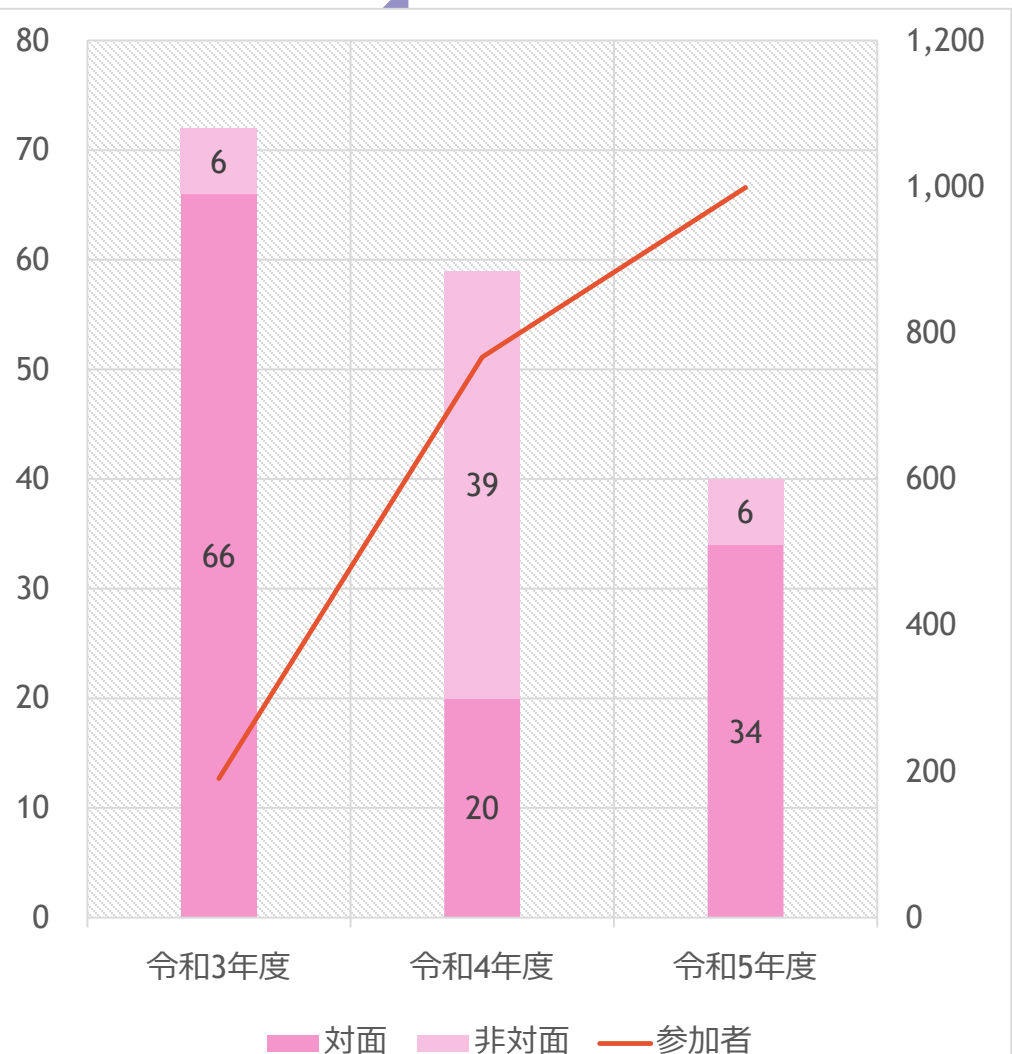
福井県内税務署へのリーフレット設置依頼

- ▶ 確定申告時に必要となる「源泉徴収票」「控除証明書」について、ねんきんネット経由によるデータ取得の利便性に関するリーフレットの設置を依頼

02.令和5年度事業実施中間報告

市町・自治会・事業所
関係機関・関係団体を対象とした取り組み

年金制度説明会



※令和5年度のみ1月末現在

年金制度説明会開催の目的

- 制度内容を正しく理解し、適正な届書を提出いただくことにより、被保険者の年金権や公平性の確保を目的に実施

《主なテーマ》

- 事業所調査における指摘事項の多い事例
- 短時間労働者の適用拡大
- 育児休業に係る保険料免除等
- オンライン事業所年金情報サービス
- 年金給付制度(老齢・障害・遺族)

算定基礎届事務講習会の開催

- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更に伴い、令和元年度以来の参集開催
- 実施回数 … 7回 参加者数 … 382名

対面による開催需要の増加

- 対面開催率 … 令和4年度：33.9% 令和5年度：85.0%
- 開催方法は今後も柔軟に対応

02.令和5年度事業実施中間報告

市町・自治会・事業所
関係機関・関係団体を対象とした取り組み

年金制度説明会

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	対面 非対面	参加者	対面 非対面	参加者	対面 非対面	参加者
20歳到達者等 (一般の方)	0	0	0	44	8	63
	0		13		2	
行政機関 (市役所等)	7	12	10	139	10	180
	0		0		0	
関係機関/団体 (協会けんぽ・ 社労士会等)	7	190	10	279	9	342
	0		0		2	
事業所	52	95	0	305	7	414
	6		26		2	
合計	66	297	20	767	34	999
	6		39		6	

※1 令和5年度のみ令和6年1月末現在

※2 非対面の中にはDVD提供も含んでいます。

市町・自治会・事業所 関係機関・関係団体を対象とした取り組み

専門家(社会保険労務士)派遣事業

- ◆ 短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大の円滑な施行に向けて、対象となる事業所や従業員に、制度改正の趣旨を十分に理解してもらうために「短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大に伴う周知・専門家活用支援事業」を実施しています。

- ▶ 対象事業所数 … 342件
- ▶ 登録社会保険労務士数 … 24名
- ▶ 令和5年度派遣実績数 … 0件(3件)

※1 令和6年1月末現在
※2 括弧内は昨年度実績数

《主な相談内容》

- 制度説明、メリット・デメリット
- 助成金(キャリアアップ助成)
- 個別相談
 - 自身の働き方が適用拡大の対象になるか
 - ダブルワークを行う場合
 - 年金の受給額への影響

社会保険適用拡大
専門家活用支援事業

無料

令和6年10月の適用拡大に向けて

**社会保険労務士等の
専門家がサポートします**

適用拡大
に向けた準備
の検討

従業員への
説明
サポート

手続きに
関する
アドバイス

事業主・従業員のみならずへの
ご説明のために、ノウハウ豊かな社会保険
労務士等を、無料で派遣します。

ご利用の流れやお申し込み方法は裏面へ

出張年金相談会

- ◆ 遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、商工会議所等に赴き、年金全般にかかる相談受付窓口を開設しています。

《令和5年度内訳》

事務所	福井	武生	敦賀	合計
実施回数	22	1	21	44
相談人数	101	2	173	276

市町・自治会・事業所
関係機関・関係団体を対象とした取り組み

地域年金事業運営調整会議

- ◆ 地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう、地域における支援のネットワーク等を構築し、地域に根ざした年金事業の推進を積極的に図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しているところです。
- ◆ いただいたご意見については、必要に応じて本部関係部署への情報共有を行うとともに、福井県内における地域年金展開事業の運営の参考にさせていただきます。

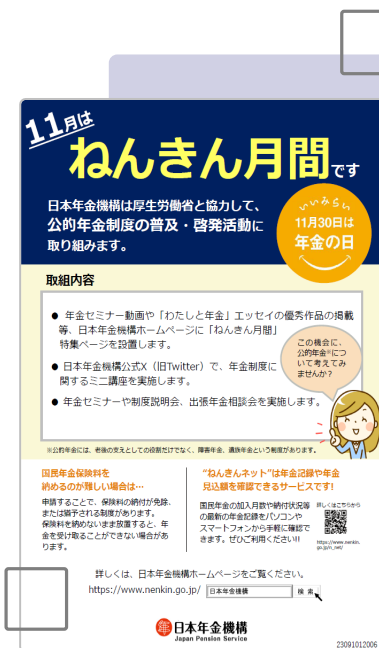
令和4年度 福井県地域年金事業運営調整会議

- ・ 令和5年3月(書面開催)
- ・ 議題 … 令和4年度事業実施中間報告
令和5年度取り組み方針(案)
令和5年度事業計画(案)
- ・ 令和2年度以降、コロナ禍のため書面開催

市町・自治会・事業所 関係機関・関係団体を対象とした取り組み

ねんきん月間・年金の日

- ◆ 毎年11月を「ねんきん月間」として、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。特に11月30日(いいみらい)を「年金の日」として、国民の皆様にご公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的として、関係機関/団体へチラシの設置協力や各年金事務所内にてポスターの掲示を実施しています。



年金セミナー

- ・ 高等学校3校、特別支援学校保護者や教員へ1回実施

年金制度説明会

- ・ 事業所、職域型年金委員へ計2回実施

出張年金相談会

- ・ 勝山市民会館、大野商工会議所、小浜市文化会館にて計3回実施

年金委員・健康保険委員表彰式

- ・ 全国健康保険協会福井支部と共同開催

全国年金委員研修(於:東京)

- ・ 職域型・地域型年金委員各1名について、各都道府県から参集参加
- ・ 各年金事務所において、オンラインにて同時開催
- ・ 後日、オンデマンド配信による視聴案内

市町・自治会・事業所 関係機関・関係団体を対象とした取り組み

「わたしと年金」エッセイ

- ◆ 公的年金の大切さ、応募者ご自身やご家族との公的年金制度のかかわり、公的年金についての考えなど、公的年金制度をテーマにしたエッセイを募集しています。



関係機関への協力依頼

- 福井県教育委員会等21カ所の関係機関/団体
- 福井県内の大学・専門学校… 25校
- 福井県内の県立高等学校… 32校
- 福井県内の私立高等学校… 6校

＜福井県応募実績＞

	一般	学生	合計
令和5年度	0 (80)	5 (1,529)	5 (1,609)
令和4年度	1 (89)	0 (1,919)	1 (2,008)

※括弧内は全国の実績

市町・自治会・事業所 関係機関・関係団体を対象とした取り組み

総括

- ◆ 今年度については、手続きのデジタル化にかかる周知広報を集中的に行いました。
そのチラシやリーフレットの配布においては、関係機関/団体の多大な協力をいただくことができました。また、事業所向けにおいては、年金制度説明会の内の1つのテーマとして実施し、利便性や有用性の広報に努めました。
- ◆ 年金制度説明会に関しては、1回あたりの参加人数を大幅に増加させ、効率的な実施に至りました。
特に算定基礎届にかかる大規模な事務講習会にあっては、4年振りに参集開催を実現し、多くの担当者の方に参加いただくことができました。
次年度は、実施回数・参加人数及びテーマのバランスを取りつつ、対面・非対面それぞれの説明会を継続します。また、数多く存在する動画コンテンツをライフイベントやニーズに応じて整理し、マーケティングツールとしての有用性を引き出します。
- ◆ 「わたしと年金」エッセイの募集や短時間労働者の適用拡大にかかる専門家派遣事業に関しては、関係機関/団体の協力を得て、周知・広報を行いました。
次年度についても、協力・連携体制を維持し、周知・広報活動の充実を図ります。

教育機関を対象とした取り組み

年金セミナー

- ◆ 次世代の主役となる若年層が年金の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであることに理解を深めていただくため、年金セミナー事業を推進しています。

知っておきたい
年金のはなし



関係機関への協力依頼

- ▶ 福井県教育委員会
- ▶ 福井県内の大学・専門学校… 25校
- 福井県内の県立高等学校 … 32校
- 福井県内の私立高等学校 … 6校
- 武生・敦賀管内の中学校… 32校

《令和5年度事務所別内訳》

事務所名	福井	武生	敦賀	合計
実施回数	4	1	9	14
参加人数	125	117	567	809

※令和6年1月末現在

02.令和5年度事業実施中間報告

教育機関を対象とした取り組み

年金セミナー

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	対面(校数)	参加者	対面(校数)	参加者	対面(校数)	参加者	対面(校数)	参加者	対面(校数)	参加者
	非対面(校数)		非対面(校数)		非対面(校数)		非対面(校数)		非対面(校数)	
大学・短大	1(1)	56	1(1)	53	1(1)	34	1(1)	56	1(1)	43
	0(0)		0(0)		0(0)		0(0)		0(0)	
高等学校	18(16)	1,515	12(7)	1,218	6(6)	1,100	4(4)	575	7(7)	622
	0(0)		6(5)		4(2)		4(4)		1(1)	
中学校	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	332	0(0)	19	0(0)	19
	0(0)		0(0)		5(5)		2(2)		1(1)	
その他	2(2)	72	5(5)	108	1(1)	202	9(9)	260	4(4)	125
	0(0)		0(0)		5(5)		2(2)		0(0)	
合計	21(19)	1,643	18(13)	1,379	8(8)	1,668	14(14)	910	12(12)	809
	0(0)		6(5)		14(12)		8(8)		2(2)	

※1 令和5年度のみ1月末現在

※2 非対面の中にはDVD提供も含んでいます。

※3 「その他」・・・専門学校、特別支援学校等

教育機関を対象とした取り組み

総括

- ◆ 年金セミナーに関しては、現時点では、実施回数・参加人数ともに昨年度実績を下回りました。一方で、今年度に初めて年金セミナーの開催に至った学校等は8件に上りました。次年度は、実施回数及び参加人数の向上、新規開催学校等の開拓を目的として、幅広くアプローチを行います。

02.令和5年度事業実施中間報告

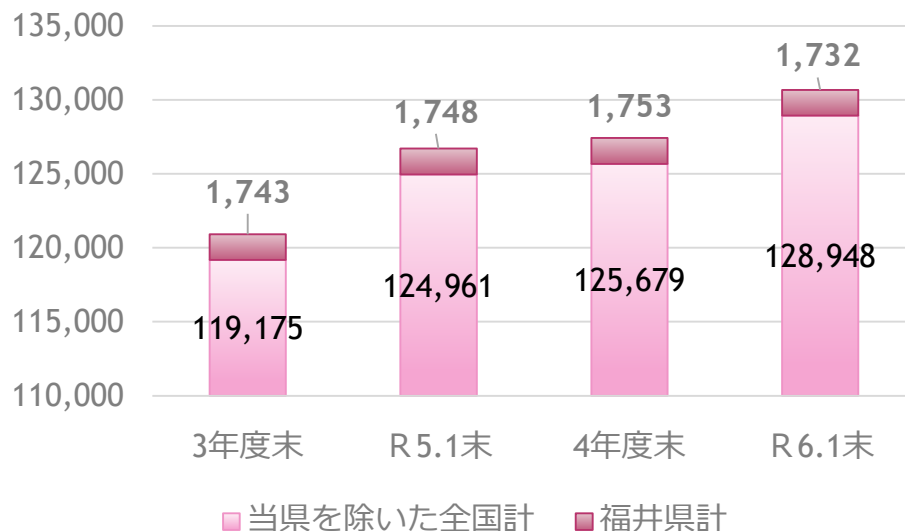
年金委員を対象とした取り組み

- ◆ 年金委員とは、厚生労働省から委嘱を受けて、政府が管掌する厚生年金保険や国民年金の事業について、会社や地域で啓発・相談・助言等の活動を行う民間協力者です。活動する範囲により、「職域型」と「地域型」の2つに区分されています。
- ◆ 年金委員活動の活性化を図ることは、政府管掌年金事業に対する国民の理解や信頼の醸成に繋がるものと捉え、積極的に取り組んでいます。

委嘱拡大

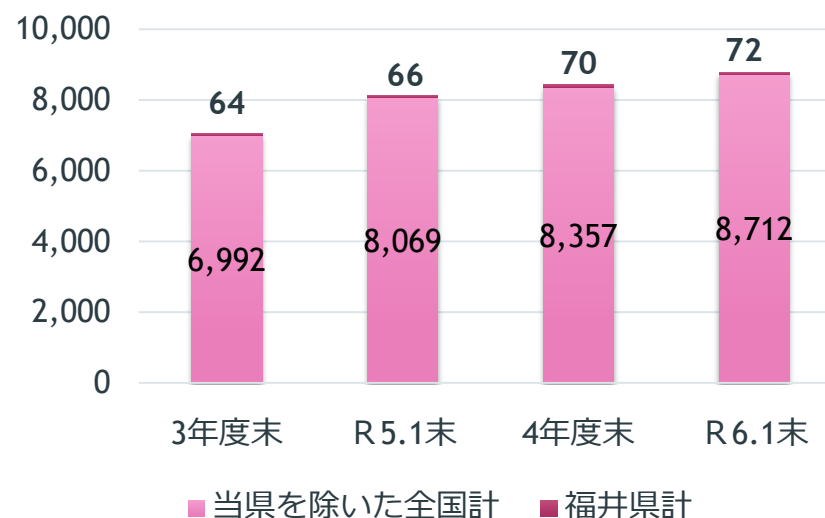
《職域型》 被保険者50人以上事業所

- ・ 令和6年10月より開始される短時間労働者の適用拡大を踏まえ、被保険者が50人以上在籍し、委員未設置事業所を中心に委嘱を拡大
- ・ 被保険者50人以上事業所へ27名の新規委嘱(R6.1月末現在)
設置割合…福井県:66.8% 764事業所のうち510事業所
(近畿地域第二部管内の設置割合:36.8%)



《地域型》 市町職員・教育機関職員

- ・ 高齢者、生活困窮者、若年者への周知・啓発等のより地域に根付いた年金委員活動を行うことを目的に、市町職員(民生委員含む)や教育機関職員を中心に委嘱を拡大
- ・ 3名へ新規委嘱(R6.1月末現在)



年金委員を対象とした取り組み

情報提供

- ◆ 職域型及び地域型年金委員に対して、制度の活用と周知・広報を目的として研修会や連絡会の開催をはじめ、年金制度全般にかかる年金委員向け情報誌を地域独自で作成・送付し、情報提供を行いました。
- ◆ また、日本年金機構本部より業務運営の状況や目標の達成状況等を、国民の皆様に分かりやすく発信することを目的に「アニュアルレポート（年次報告書）」の送付、日本年金機構ホームページ内「年金委員通信」による年金委員制度や取り組みの紹介による情報提供を行いました。

全国年金委員研修（於：東京）

- ▶ 職域型・地域型年金委員各1名について、各都道府県から参集参加
- ▶ 各事務所において、オンラインにて同時開催

職域型年金委員研修

- ▶ 制度改正、事例紹介をテーマに実施
- ▶ 実施回数 … 2回 参加者数 … 104名

※令和6年1月末現在

情報誌「ねんきんNEWS」発行

- ▶ 近畿地域独自の取り組みとして、四半期毎に発行
- ▶ 各制度の最新情報や基本情報等の記事を掲載

地域型年金委員連絡会

- ▶ 周知・啓発活動の活性化を目的に、活動内容の依頼や意見交換を実施
- ▶ 国民年金制度研修を開催

年金委員表彰



令和5年度 福井県年金委員・健康保険委員表彰式

- ▶ 令和5年11月8日（水） 於：福井市にぎわい交流施設「ハピリンホール」
- ▶ 共催 … 全国健康保険協会福井支部
- ▶ 後援 … 福井年金委員会

《表彰内訳》

- 厚生労働大臣表彰 … 1名
- 日本年金機構理事長表彰 … 4名
- 日本年金機構理事表彰 … 7名

※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

年金委員を対象とした取り組み

総括

- ◆ 委嘱拡大に関しては、ターゲットを絞った集中的な取り組みを実施した結果、職域型については、重点取り組み課題である被保険者50人以上の事業所に対し委嘱数は増加しましたが、中小企業の事業所からは高齢等を理由の解嘱が増え、トータルでは年金委員総数が減少しました。なお、地域型については、**着実に委嘱数が増加しました。**
- ◆ 職域型年金委員への研修会、地域型年金委員の連絡会等、各種研修や情報提供を実施しているところですが、活動に苦慮するという年金委員からの意見を踏まえ、機構本部と各年金事務所が連携し、一層の充実したサポート体制の構築を図ります。
- ◆ 次年度においても、安定した委嘱拡大を継続すると共に、研修会への参加者数増加に向けた工夫を図る等、取り組みの質を向上します。



職員の育成に向けた取り組み

◆ 地域年金展開事業を推進するため、セミナー講師としてのスキル向上など機構職員の育成にも積極的に取り組んでいます。

研修の目的・テーマ

目的

Point! 地域年金展開事業

II 基幹業務の礎 + 新入構員の皆さまが年金セミナーを中心に主体的に関わる事業

オンラインビジネスモデルの具体的な内容

01 ねんきんネット

お客様ご自身の年金に関する情報をパソコン・スマートフォンから、いつでもどこでも確認できるサービス
(平成23年2月より運用開始)

「ねんきんネット」でできること

- 年金記録の確認
- 将来受け取る年金見込額の確認
- 電子版「ねんきん定期便」の閲覧
- 各種通知書の再交付申請
- 年金の支払い、国民年金保険料に関する通知書の確認
- 納付可能月数と納付金額の確認

01 II 年金セミナー講師スキルとは

年金制度を若い世代に理解してもらうための構成力・図解力・表現力

講師スキル 3つの力のバランスが重要

構成力 理解・行動を促す、ストーリー

図解力 見て分かる資料、情報整理

表現力 聴き手に応じて簡潔に伝える

Point ① 企画→作成→伝達のプロセスのポイントを押さえる

企画・設計	資料の作成	プレゼンの実施
☐ 構想を明確に立てる ・テーマと目的を明確に ・対象者の分析 ・情報収集と整理	☐ 論理的に分かりやすく作成 ・骨子から作成 ・ビジュアルに作成 ・時間との兼ね合いをとる	☐ 聴き手を主体として実施 ・リハーサルを行う ・直撃に向き合い熱意を伝える ・成果を確認し次回に反映する

ポイント② 「補色」を使って見やすい資料

「補色」とは
色相環上で正対に位置する関係の色同士のこと。お互いの色を引き立たせず、印象的になるという効果がある。
補色の3要素の一つである色相を類似に配置したため。

ポイント③ 資料とのリンクを意識した表現

スライドとの一体感

- つなぎ言葉を効果的に取り入れる
 - ・「資料の●ページをご覧ください。」
 - ・「資料の右下記載の図のとおり・・・」
- 図にオンラインなど、一方で図解するだけでなく、両方で図解すること。両方図であるという印象を与える。

「近畿地域第二部新入構員の集い」参加

- ・ 令和4年10月、令和5年4月採用の新入構員に対しての研修
- ・ 「地域年金展開事業」「オンラインビジネスモデルの推進」

「窓口対応コンテスト」参加

- ・ 窓口対応における接客及び業務スキルの向上を目的に実施
- ・ 「初めて障害年金の相談をされるお客様に対し、いかに分かりやすく丁寧な対応ができるか」

職員の育成に向けた取り組み

総括

◆ お客様にわかりやすく年金制度の仕組みなどをお伝えし、魅力ある年金セミナー・年金制度説明会となるよう、引き続き職員の育成に取り組み、事業推進、延いては地域年金展開事業の推進に貢献できる職員を育てます。

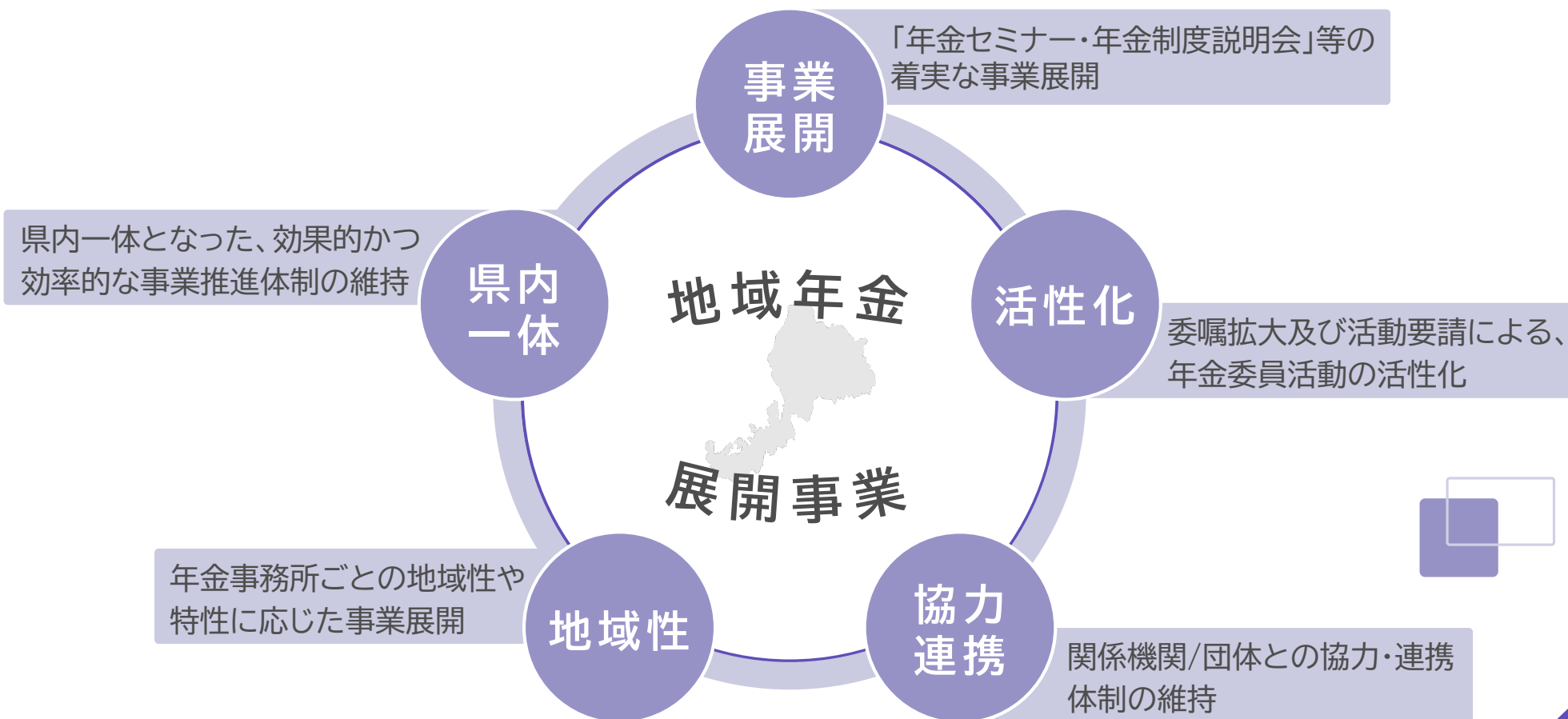
03

令和6年度取り組み方針・計画(案)

03.令和6年度取り組み方針・計画(案)

取り組み方針

- ◆ 日本年金機構においては、地域・教育・企業等の中での年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結び付けるため、それぞれの地域に根ざした「地域における年金運営の展開に関する事業」(呼称:地域年金展開事業)を実施しているところです。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更に伴う、対面を軸とした年金セミナーや年金制度説明会の開催等、時代の要請や相手先機関からの要望に柔軟に対応し、制度を知らないことによる不利益を生じさせないための情報提供を効率的に進めます。



市町・自治会・事業所 関係機関・関係団体を対象とした取り組み

- ◆ 正しい年金制度の手続、制度改正等の最新情報を地域において周知することは、地域年金展開事業の重要な取り組みです。
- ◆ そのため、市町・自治会・事業所・関係機関/団体に対し、あるいは、これらの機関と連携して、地域に根付いた情報提供活動や年金制度説明会等を実施します。なお、年金制度説明会は対面での実施を基本とし、相手先機関から要望があった場合は、オンラインによる非対面にて実施します。また、動画説明の要望があった場合は、Youtube掲載先の案内を行います。

チラシ・ポスター等の配布

- 地域住民の身近な窓口である市役所等を中心に、関係機関/団体の窓口ポスターやリーフレットを設置

年金制度説明会

- 事業所等に対して、社会保険関係届の記載・提出方法や制度改正内容等について説明

出張年金相談会

- 遠方にお住まいで、年金事務所のご利用が難しいお客様のニーズに応えるため、市役所や商業施設等に赴き、年金制度全般にかかる相談受付窓口を開設

地域年金事業運営調整会議

- 地域年金展開事業を効果的に推進すること等を目的として、事業実績や取り組み方針等を報告し、意見を聴取

ねんきん月間・年金の日

- 厚生労働省と協力して国民の皆様が公的年金制度に対する理解を深めていただくため、年金セミナーや年金制度説明会をはじめ、チラシの配布やポスターの掲示を実施

「わたしと年金」エッセイ

- 年金制度の意義や公的年金制度と国民の結び付きなどについて考えていただくため、応募者数増加に向けて各種広報活動を充実

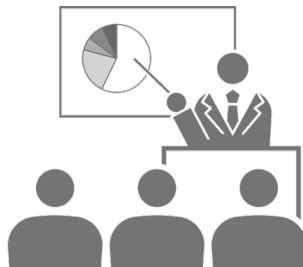
03.令和6年度取り組み方針・計画(案)

教育機関を対象とした取り組み

- ◆ 高校生や大学生をはじめとする若い世代が、年金の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであると理解することは、地域年金展開事業の核となる重要な取り組みであるため、各種教育機関の協力をいただきながら年金セミナーを実施します。
- ◆ また、保護者や教職員の制度理解を深めることも非常に重要であるため、保護者や教職員を対象とした年金セミナーについてもアプローチを行い、拡充を図ります。

年金セミナー

- ▶ 各年金事務所は、昨年度実績を上回る年金セミナーを実施
- ▶ 既年金セミナー開催校は継続実施と共に、新規開催校を確保
- ▶ 福井県教育委員会や各市町教育委員会へ協力を依頼
- ▶ 年金事務所の管轄にとらわれず、県内一体となって協力し、安定的な事業運営を推進



年金セミナーのご案内

日本年金機構では、学生の方を対象に公的年金制度をより理解していただくための年金セミナーを行っています。公的年金制度は私達の生活と深く関わる重要な制度ですが、難しいものと捉われがちです。年金は、皆様の疑問などを解消するために、分かりやすくお伝えします。

開催方法は次の中からお選びいただけます。

- 1 Web会議サービス等を活用したリモート型
 - 2 年金セミナー用動画 (DVD) 提供型
 - 3 訪問・対面型
- ※ 時間設定や内容はご希望をお伺いします。
※ 保護者向け、教職員向けの年金セミナーも実施しております。

開催に向けてのご相談は、以下お問い合わせ先まで！

学校の所在地	管轄の年金事務所
福井県 大野市 福井市 小浜市 鯖江市 越前市 金沢市	福井年金事務所 〒910-0506 福井市千代2-1-34 0776-22-1111
福井県 越前市 小浜市 鯖江市 大野市 福井市 金沢市	福井年金事務所 〒915-0003 越前市町田5-2-11 0776-22-1111
福井県 小浜市 小浜市 小浜市 小浜市 小浜市 小浜市	福井年金事務所 〒914-0500 小浜市南浜5-54 0776-22-1111

1 Web会議サービス等を活用したリモート型

Web会議サービス等を活用したリモート型の年金セミナーです。スマートフォンやパソコンなどを用いて開催するため、自宅などの離れた場所からでも参加できます。

※日本年金機構ではMicrosoft Teamsを利用して、LINEやZoomなどから簡単にセミナーに参加できます。また、学校で使っているWeb会議サービスをご利用の場合は、リモートで年金セミナーを行う様子講師が学校にお伺いして行います。

2 年金セミナー用動画 (DVD) 提供型

日本年金機構で作成した解説付き動画 (DVD) をお送りいたします。セミナー当日に参加できなかった方も後日改めてご視聴いただけます。

3 訪問・対面型

講師が学校にお伺いして、受講者の方々と対面で年金セミナーを実施します。講師と受講者とのコミュニケーションを重視しており、ご質問などをしてしやすい環境づくりに努めています。

福井県教育委員会で年金セミナーを行う様子

年金セミナー実施後のアンケートではこんなお声をいただきました！

- ・就職前に年金セミナーを受けたことは本当によかったと思うし、これまで知らなかったことをたくさん学ぶことができたのでよかったです。
- ・年金は55歳になってからもらうお金というイメージしかなかったけれど、障害年金や遺族年金などいろいろな制度があったと知った。国民の義務でもあるし、世代を築くためにもしっかり払っていきたい。
- ・今日のセミナーを受けて理解できたことは、20歳になったら公的年金制度に加入し、保険料を納める義務があるということです。「国民の義務」はこれから先も大事にしたいです。

日本年金機構
Japan Pension Service

03.令和6年度取り組み方針・計画(案)

年金委員を対象とした取り組み

- ◆ 年金委員は、職場・地域内外における公的年金制度の周知・啓発をはじめとした重要な役割を担っていることから、委員活動の一層の活性化を図ると共に、委員活動が充実・円滑に行うことができるように各種支援を行います。

委嘱拡大

《職域型》

- ▶ 年金委員未設置事業所への勧奨文書の送付をはじめ、電話及び訪問による勧奨を実施

《地域型》

- ▶ 関係機関/団体への推薦依頼
- ▶ 職域型年金委員を辞退される方へ地域型年金委員の委嘱を案内

情報提供

- ▶ 啓発資料(「アニュアルレポート」「退職後の年金手続きガイド」等)の送付
- ▶ 新規委嘱者へ「年金委員活動の手引き」の送付
- ▶ 年金委員向け情報誌「ねんきんNEWS」を四半期毎に送付
- ▶ 年金委員向け研修の実施

地域型年金委員連絡会・地区連絡会

- ▶ 各連絡会の定期開催により、積極的に意見を聴取
- ▶ 地域型年金委員活動に必要となる知識の定着を目的に、説明会を実施

年金委員表彰

- ▶ 年金委員としての活動が特に顕著と認められた方への表彰を実施



職員の育成に向けた取り組み

- ◆ 年金セミナーや年金制度説明会等の実施による公的年金制度の理解の促進には、講師のプレゼンテーションスキルの向上が欠かせません。
- ◆ 地域年金展開事業を効果的に推進するため、各種制度の理解や対話能力を養い、機構職員の育成に取り組めます。

業務・講師養成研修

- 年金制度に関する業務研修やプレゼンテーションスキル向上研修等の各種研修を受講する
- 学生と年齢的に近い若手職員に対し、積極的に研修の機会を設ける

Web会議サービス実機研修

- オンラインによる説明会等の開催を目的に、機構の専用端末にインストールされたWeb会議サービス(Microsoft Teams)の操作方法について、実機による研修を受講する

コンペティション

- 講師や窓口対応職員としてのスキル向上のため、各種コンペティションに参加する
- コンペティションの様子を録画したものから、参加者以外も学びを得ることができるように取り組む

